

ふるさとをいつまでも
〜出会いと交流があふれるまちづくり〜

今月のテーマ

地域と大学のつながりの場

三重大学の学生がワーケーションを体験



では、人口減少対策の一つとして、県が実施する「一次産業ワーケーション®」に参画し、慢性的な人手不足の解消と、地域との継続的なつながりを持つ「関係人口」の創出を取り組んでいます。今年度のみかん収穫ワークショップには、12月15日



01. 鳥獣害対策などのために行う「サンテ®かけ」作業について説明を聞く学生たち。02.「サンテ®かけ」作業を行う三重大学の学生。

時点での御浜町への参加者を含め、延べ200名を超える方が参加し、町内各地で活気あふれる光景が見られるなど、大きな盛り上がりを見せてています。今回は、その中でも三重大学の学生が参加された現場を取材しました。学生たちは、みかんの収



来場者のみなさんに書いてもらった手紙

な喜びとやりがいにもなっています。

「健康相談窓口」では、健康のことだけではなく、未来の自分に宛てた手紙を書いたり、気分転換の場になったりしますので、ぜひお気軽に遊びに来てください。

こうした取り組みを通じて、町を訪れる「一時的な滞在」にとどまらず、将来的な再訪や移住、継続的な関わりへとつながる関係人口の拡大が期待されています。町では今後も、地域の魅力を知つていただく機会づくりと、一次産業を支える取り組みを進めていきますので、引き続きみなさんのご理解とご協力をお願いします。

</